



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日

上場会社名 株式会社カプコン 上場取引所 東  
 コード番号 9697 URL <http://www.capcom.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻本 春弘  
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)湯川 直樹 (TEL) 06(6920)3605  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,938	4.3	7,703	50.8	7,699	40.2	5,420	38.9
2019年3月期第1四半期	17,204	46.5	5,106	550.8	5,492	610.6	3,903	648.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,817百万円 (12.4%) 2019年3月期第1四半期 4,288百万円 (362.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	50 78	—
2019年3月期第1四半期	35 65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	117,996	91,432	77.5
2019年3月期	123,407	88,749	71.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 91,432百万円 2019年3月期 88,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15 00	—	20 00	35 00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	15 00	—	20 00	35 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△15.0	20,000	10.2	19,500	7.2	14,000	11.5	131 15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)― 、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	135,446,488株	2019年3月期	135,446,488株
2020年3月期1Q	28,695,280株	2019年3月期	28,695,180株
2020年3月期1Q	106,751,253株	2019年3月期1Q	109,489,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における当業界は、5G時代の本格的な到来を控え、巨大IT企業のグーグルがゲーム専用機の不要なクラウドゲームの参入を表明したほか、マイクロソフトも同配信サービスを予定するなど、新たなビジネスチャンスを巡って、構造的な変化の波が押し寄せてまいりました。

このような状況のもと、当社は国内外の多様な顧客ニーズに対応するため、家庭用ゲームの開発に経営資源を集中するなど、競争力の源泉である開発体制の拡充に注力したことに加え、市場動向に適合したマーケティング活動やプロモーション展開に傾注するとともに、各ハードにソフトを供給するマルチプラットフォーム戦略の推進により販売拡大に努めてまいりました。他方、業務用機器部門の縮小等、不採算部門の見直しを行ったほか、将来の成長が期待されるeスポーツ事業に資金や人材を投入するなど、選択と集中を推し進めてまいりました。

こうした中、大型のリピータイトルが引き続き海外で人気が続くとともに、好採算のダウンロード販売が拡大したことにより収益向上に貢献しました。

この結果、当第1四半期の売上高は179億38百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

また、利益面につきましては、ダウンロード販売の伸長など採算性が高いデジタル販売比率が向上したため、営業利益は77億3百万円（前年同期比50.8%増）、経常利益76億99百万円（前年同期比40.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益54億20百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① デジタルコンテンツ事業

当事業におきましては、有力タイトルの投入サイクルが端境期となったことにより新作ソフトの発売が移植版タイトル等の少数にとどまりましたものの、前期にヒットした「バイオハザード RE:2」（プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用）や「デビル メイ クライ 5」（Xbox One、プレイステーション 4、パソコン用）がユーザー層の拡大により続伸したほか、同じく旗艦タイトル「モンスターハンター：ワールド」（プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用）も根強い人気に支えられ息が長い売行きを示しました。これらのリピータイトルが利幅の大きいダウンロード販売の伸長により利益を大きく押し上げました。

この結果、売上高は139億77百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業利益につきましてもリピータイトルの寄与などにより77億33百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

#### ② アミューズメント施設事業

当事業におきましては、「地域一番店」を旗印に各種イベントの開催やサービスデーの実施など、趣向を凝らした地域密着型の集客展開によりコアユーザーの獲得やリピーターの確保、ファミリー層の取り込み等、客層の拡大に努めてまいりました。

当該期間の出退店はありませんでしたので、施設数は前期末と同じく37店舗となっております。

この結果、売上高は27億10百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は2億99百万円（前年同期比108.2%増）となりました。

#### ③ アミューズメント機器事業

遊技機市場は、市況回復の足取りが鈍い環境のもと、パチスロ機部門は新機種投入がなかったため主にライセンスアウトによる事業展開を行ってまいりました。

この結果、売上高は2億25百万円（前年同期比40.1%減）と減収になりましたが、営業利益は1億33百万円（前年同期は営業損失1億54百万円）と小幅ながら黒字に転換いたしました。

#### ④ その他事業

その他事業につきましては、主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は10億25百万円（前年同期比54.4%増）、営業利益6億40百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ54億11百万円減少し1,179億96百万円となりました。主な増加は、「ゲームソフト仕掛品」34億10百万円であり、主な減少は、「受取手形及び売掛金」96億88百万円によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ80億93百万円減少し265億64百万円となりました。主な減少は、「支払手形及び買掛金」24億69百万円、「未払法人税等」21億88百万円および「賞与引当金」12億7百万円によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ26億82百万円増加し914億32百万円となりました。主な増加は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」54億20百万円であり、主な減少は、「剰余金の配当」21億35百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日決算発表時の業績予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	53,004	56,025
受取手形及び売掛金	13,970	4,282
商品及び製品	1,182	1,030
仕掛品	734	962
原材料及び貯蔵品	538	472
ゲームソフト仕掛品	16,926	20,337
その他	4,518	2,748
貸倒引当金	△58	△59
流動資産合計	90,817	85,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,845	10,673
その他(純額)	9,513	10,066
有形固定資産合計	20,359	20,739
無形固定資産		
	432	395
投資その他の資産		
その他	11,830	11,094
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	11,798	11,061
固定資産合計	32,590	32,197
資産合計	123,407	117,996
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,988	1,519
電子記録債務	1,153	789
1年内返済予定の長期借入金	1,579	1,579
未払法人税等	4,251	2,063
賞与引当金	3,089	1,882
その他	9,149	7,044
流動負債合計	23,212	14,878
固定負債		
長期借入金	6,735	6,585
退職給付に係る負債	3,004	3,058
その他	1,705	2,041
固定負債合計	11,445	11,685
負債合計	34,658	26,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	62,595	65,881
自己株式	△27,456	△27,456
株主資本合計	89,708	92,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	△15
為替換算調整勘定	△713	△1,281
退職給付に係る調整累計額	△271	△264
その他の包括利益累計額合計	△958	△1,561
純資産合計	88,749	91,432
負債純資産合計	123,407	117,996

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	17,204	17,938
売上原価	8,558	6,409
売上総利益	8,646	11,528
販売費及び一般管理費	3,539	3,825
営業利益	5,106	7,703
営業外収益		
受取利息	25	61
受取配当金	8	8
為替差益	371	—
その他	28	73
営業外収益合計	433	143
営業外費用		
支払利息	20	18
支払手数料	17	17
為替差損	—	97
その他	8	14
営業外費用合計	46	147
経常利益	5,492	7,699
特別損失		
固定資産除売却損	13	0
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	5,479	7,699
法人税、住民税及び事業税	667	1,707
法人税等調整額	907	571
法人税等合計	1,575	2,279
四半期純利益	3,903	5,420
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,903	5,420



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	3,903	5,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△42
為替換算調整勘定	431	△568
退職給付に係る調整額	6	7
その他の包括利益合計	384	△602
四半期包括利益	4,288	4,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,288	4,817
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,479	7,699
減価償却費	854	602
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,063	△1,202
受取利息及び受取配当金	△33	△70
支払利息	20	18
為替差損益(△は益)	△108	77
固定資産除売却損益(△は益)	13	0
売上債権の増減額(△は増加)	7,303	9,602
たな卸資産の増減額(△は増加)	△416	△15
ゲームソフト仕掛品の増減額(△は増加)	△4,073	△3,412
仕入債務の増減額(△は減少)	763	△2,805
その他	△3,493	△147
小計	5,221	10,349
利息及び配当金の受取額	34	70
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△3,569	△3,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,676	6,943
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△655	△856
無形固定資産の取得による支出	△4	△12
その他	△0	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△661	△835
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△160	△150
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,916	△2,135
その他	△104	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,182	△2,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	305	△686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△862	3,020
現金及び現金同等物の期首残高	46,539	53,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,676	56,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについては、当第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間における連結貸借対照表は、使用権資産（有形固定資産のその他）が309百万円、リース債務（流動および固定負債のその他）が299百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,782	2,381	376	16,539	664	17,204	—	17,204
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,782	2,381	376	16,539	664	17,204	—	17,204
セグメント損益	5,735	143	△154	5,724	411	6,135	△1,029	5,106

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△1,029百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,029百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,977	2,710	225	16,912	1,025	17,938	—	17,938
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,977	2,710	225	16,912	1,025	17,938	—	17,938
セグメント損益	7,733	299	133	8,166	640	8,806	△1,103	7,703

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△1,103百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。